

科学技術・学術審議会研究計画・評価分科会の意見

科学技術・学術審議会研究計画・評価分科会（第 92 回）資料より抜粋

- BSL4 拠点形成研究においては、欧米と同規模な長崎大学の BSL4 施設を用いた研究や取組は大変重要であり、着実な教育・訓練を進めていることを評価する。着実な前進と今後の成果を期待する。(P4)
- 長崎大学において、BSL4 施設を活用するための人材育成基盤を構築し、関連研究を推進していることは大いに評価できる。維持経費を措置することで施設のバイオセーフティ・バイオセキュリティを維持する必要がある。(P25)
- 欧米と同規模な長崎大学の BSL4 施設を用いた研究や取組は大変重要である。BSL4 施設の経験者によるマニュアル整備等を含め、施設を使用する研究者の着実な教育・訓練を進め、本格的な研究を迅速に開始できるよう準備されていると評価できる。また、バイオセーフティやバイオセキュリティに係る取扱いについて、長崎大学において設置された地域連絡協議会（長崎大学における感染症研究拠点整備に関する地域連絡協議会及び長崎大学高度感染症研究センター実験棟の運用に関する地域連絡協議会）や広報紙（BSL -4 Report や感染症ニュース等）を通じて、対外的に分かりやすく適切に説明をしていることも評価できる。相当の苦労はあると思うが、今後も確実な前進を期待する。今後の成果が期待される。(P26)
- BSL4 施設における研究や人材育成等は、我が国における感染症研究において意義が大きいと評価できる。(P28)